

OPEN FOREST

絵本の世界からやってきた

猫のダヤン

「未来への種まき」 緑輝く三芳町へ

マレーシアのボルネオの熱帯雨林を買い取って保護する「緑の回廊」運動に取り組んでいます。自然環境の破壊を目の当たりにし、「動物たちに森をプレゼントしたい」という想いから活動中です。三芳町の平地林はダヤンの森とイメージが重なり、愛着を持てます。幅広い世代から親しまれるダヤンとともに三芳町の魅力を発信し、平地林を保護する活動にも取り組みたいです。

「猫のダヤン」作者
池田あきこさん



▲マレーシアのボルネオの熱帯雨林は「ダヤンの森」として保護しています。



三芳町の平地林は
ほくの住む世界と
似ているよ〜。

POINT

子どもたちと育てる /

クラウドファンディングで「平地林」創生！

平地林を創出するための整備費用をクラウドファンディングで募ります。子どもたちによるクヌギなどの苗木植樹のほか、シンボルとなる桜を配置します。平地林を単に守るだけでなく、春にはみんなが集い、子どもたちが誇りを持てる「愛される場所」をめざします。



※写真はイメージです。

子どもたちに
植樹体験をして
もらいます！

詳細は
こちらから



OPEN FARM

農業ジャーナリスト

小谷 あゆみさん

体験することで未来へ受け継ぐ

毎年、参加している「体験落ち葉掃き」は江戸時代から続く伝統農法「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を体験する町の冬の風物詩。イベントに参加し、落ち葉掃きを体験することで先人たちがこれまで築いてきた「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が未来へ継承されます。見て、触れて、聴いて、嗅いで、味わうなど、実際に体験することで新たな気づきや出会いが見つかるかもしれません。

POINT

歩いて見つける、町の魅力を再発見！

町のガーデンツーリズムに組み込まれているマイクローツーリズムとは自宅から近い地元や近隣への「短距離観光」のことです。何気なく車で通る道も、実際に歩くといつもと違う気分を味わえるので、お気に入りのスポットを探してみましょう。



古民家や
田園風景に
癒されます！

ぜひ、体験して
みてね。



OPEN GARDEN

庭園デザイナー

石原和幸さん

園芸×農業で魅せるガーデンへ



▲そばの花は年に2回（5月下旬と9月下旬）見頃を迎えます。

ガーデンの楽しみ方は人それぞれ。家庭菜園を通して食糧自給率を高めたイギリスのように、園芸を通して食べ物を楽しみながら育てることもできます。農家の多い三芳町では花を咲かせる作物もガーデンの一部として活用できるので魅せ方もたくさんです。軒先や人の見える場所に花や木々を植えることで、魅せるガーデンが町を彩ります。



①月の原ガーデン



②多福寺



③多間院

- ①ローズガーデンに数百本のバラやハーブなど見ごたえがたかさん。ガーデン好きが集まる憩いの場。
- ②日本ならではの「わび・さび」を感じられる空間。季節ごとに違う景観を味わえ、季節の折々に訪れたい場所。
- ③回遊式で遊び心が感じられ、トラが飾られているのも特徴的。咲いている花や木々の品種も多種多様。和の下草が多く、歩くのが楽しい寺院です。

POINT

ワクワクするガーデンで町を活性化！

ガーデンは難しく考えられ、ハードルの高いイメージがありますが、実はそうではありません。「魅力的なガーデン」とは大好きな木や花を植えることで、自分がワクワクするお庭のことです。出来上がったガーデンを他の人に見せたり、花を見ながらみんなで食事をするので、近隣住民が気軽に集まり、交流できるコミュニティが生まれます。ガーデンを通して、多くの人が交流できるお手伝いをしていきたいです。



三芳町
観光
アンバサダー

3人が
町の「いいね」を
届けます！